令和 5 年度 上 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,993,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、多目的ルーム、事務室		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,520	5,887	5,644	5,763	3,724
	移動児童館利用者数	205	656	291	282	58
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※8(6)	※14(9)	※11(8)	※7(6)	※2(2)
	開館日数(単位:日)	155	151	155	149	94

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①5月13日以前までは新型コロナウイルス感染症対策マニュアルのもと、開館日・開館時間を計画通り実施した。5月13日以後も開館日・開館時間を計画通りに実施した。 上半期開館日 155 日間 8月 台風による強風注意報、大雨警報での休館終日2日 開館後大雨警報のため途中休館1日間 * 休館時、職員は保守、電話相談対応で出勤 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員5人(内休日対応職員として職員2人) 保有資格は、保育士資格4人、児童厚生員2級資格3名、他教諭資格を保持で人員は構成されている。 ③おたより「メロディ」を毎月発行。乳幼児用と児童用の2種類作成して、近隣小学校や公民館などへ配布、ホームページにも掲載、ホームページへは、おたよりの他に毎月の活動も掲載(写真・コメント)した後、館内にも掲示。法人和光会グループやフェイスブックへの掲載も更新している。 ④常時ご意見箱を設置し、意見・要望の対応にあたった。また、利用者アンケートを上半期1回実施、実態を把握し問題の解決に努めた。利用者アンケート結果や要望意見への回答をホームページや館内掲示している。 ⑤仕様書、事業計画に基づき、適切に実施した。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行。玩具については5月末まで貸し出し制を実施していたが6月より自由に手に取り遊べるように設置した。安心安全に努め、清潔と点検のため、昼、閉館後に遊具消毒と整頓を実施し、次への使用に備えた。消毒しにくいものを中心にオゾン式保管庫も以前同様に活用した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策は継続して細心の注意を払い遂行した。定時による換気も行い感染防止を継続した。利用時間制限、入館数制限など三密を避ける対策は緩和した。遊具の扱いへの理解協力は継続して求めた。 ③節電の意識を持ち、エアコンは室温を適温に設定し、今夏の猛暑に対応のため、サーキュレーターを使用した。室内の室温にむらのないように努めた。職員による定期点検の実施、気温、室温チェックを行った。幼児や児童の工作においては、廃材の利用に取り組み、裏紙の使用を奨励することで省エネルギーやリサイクルで管理費の縮減に努めた。 ④職員による朝夕の施設内・施設外周の見回り点検を実施しチェック表へ記録した。また法人・危機管理室職員が週2回以上、館外の巡回を実施のため来館した。玩具については、片づけ時に職員が確認し破損が発見された場合は職員が修理またはおもちゃ病院ぎふに修理を依頼した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した個所については速やかに職員が修繕した。また業者へ修繕が必要な場合は見積もり後、依頼した。 ②簡易な修繕については、児童館職員で行う。または法人本部に修繕依頼している。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③すべてにおいて、マニュアルに沿って実施。 接遇や事故対応等の研修に参加し、職員会等での報告会で伝達講習を行うほか、ヒヤリハット報告書の記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年7月1日～7月30日 回答者数: 50人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年7月4日～7月21日 回答者数: 50人(小学:1年9人、2年8人、3年8人、4年6人、5年9人、6年6人) (中学:1年0人、2年3人、3年0人)(高校:1年1人、2年0人、3年0人)</p>
利用者アンケートの 実施結果	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 白山(10人)、華陽(9人)、徹明さくら(5人)、梅林(5人)、長森南(5人)、長森東(3人)、厚見(3人)、加納(2人)、その他市内(8人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(20%)、30代(76%)、40代(4%)、50代以上(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(6%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(22%)、週1回(22%)、2週に1回(22%)、月1回(24%)、その他(2%)</p> <p>【来館相手】 子(100%)、孫(0%)、友人(0%)、その他(0%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(22%)、1歳(44%)、2歳(24%)、3歳以上(10%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(25%)、自転車(10%)、自家用車(65%)、公共交通機関(0%)、その他(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(62%)、広報紙・チラシ(1%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(1%)、知人・友人(18%)、ぎふし子育て応援アプリ(9%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(9%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(84%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(84%)、ほぼ満足(16%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p>

	<p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 梅林小(30人)、白山小(14人)、梅林中(3人)、長森南小(2人)、その他市内(1人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(18%)、2年(16%)、3年(16%)、4年(12%)、5年(18%)、6年(12%) 中学: 1年(0%)、2年(6%)、3年(0%) 高校: 1年(2%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(8%)、毎日(4%)、週4・5回(4%)、週2・3回(26%)、週1回(10%)、その他(48%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(12%)、友人(61%)、兄弟姉妹(12%)、父母(12%)、祖父母(3%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(43%)、自転車(37%)、自家用車(20%)、バス・電車(0%)、その他(0%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(29%)、カードゲーム(15%)、卓球(13%)、ボードゲーム(13%)、カラム(7%)、その他(23%)</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも先生がすごく優しいです ありがとうございます(3) ➡こちらこそありがとうございます。たくさんの励ましいただいています ・いつも丁寧に声掛けて下さり、親子共々いやしの場になってます♡(3) ➡楽しんで頂けて良かったです。再来館をお待ちしています。場所や職員の顔を覚えていただきたいです。 ・子どもも慣れて毎回楽しんでます ➡来館ありがとうございます。職員や場所に慣れて遊びを楽しんでいただけるように努めています。お気軽に声を掛けていただけると幸いです。職員一同お子さんの成長を見守りつつ、保護者の方の思いや悩みをお聞きし、共有やアドバイスさせていただきたいと思っています。 ・園児も一緒に水遊びをさせていただけるのでありがたいです。楽しみにしています ➡夏休みは園児の来館も多いため、一緒に遊べるように工夫しています。安心して遊んでいただきながら交流もさせていただくと幸いです。 ・コロナでどこにも遊びに行けなくても梅林児童館は感染対策がしっかりされていて、安心してあそべました ➡コロナ禍はご不便おかけし申し訳ございませんでした。現在はお子さんが自由に遊べるように室内環境を整えながら入室していただいています。消毒に関しては以前より少し緩め、お昼時間と夕方に消毒時間を設けさせて頂き実施しています。安心してご利用いただけると嬉しいです。 ・先生方がいつも温かく、クラブや企画も沢山楽しい工夫があって親子共々毎回楽しく参加させていただいています ➡年齢や成長に合わせてお子さんたちはできることが増えて遊びが変わるため、計画を考えています。今後もご参加ください。 ・幼児と小学生がホールで一緒に遊べるように配慮していただけて助かっています ➡兄弟で来館していただき、一緒に遊んでいただけるように遊具を考えていくことが児童館の今後の課題です。ご要望ください。 ・冷房を使ってくたさるとき、少し暑いので、もう少し強めでもいいかなと思います ➡今夏は暑い日が多かったですね。来られた日に不快な思いをされたことをお詫びします。外気温を把握しつつ調整していますが何かありましたら職員にお気軽にお話ください。 ・ロビーにある家の遊具で遊べるようになったらうれしいです！ ➡コロナ禍で中止にしている遊具を今後、使用できるように戻していきます。 ・ごはんが食べられるようにいつなりますか？(児童館でのランチタイムの再開) ➡感染症対策として現在は食事・おやつ等を行っていません。申し訳ありませんがまだ未定です。 ・誕生会の定員が少ないので増やしていただけると嬉しいです ➡コロナ禍で人数制限していましたが今後、検討していきます。 ・バザーなどイベントの年間予定の開催期間が分かるものが置いてあるとうれしいです(出品したいので 幼児・小学生ともに) ➡次月予定は早めにお知らせしていますが年間予定表も検討していきます。 <p><児童></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールをたくさん用意してほしい ・おままごとセットをもっとほしい ➡遊びたい遊具や増やしてほしいものを皆さんから聞いています。順番に増やしていきます。もう少し待ってください。 ・月曜日も開館してほしい ➡梅林児童館だけで変えることはできません。取りまとめている岐阜市へ相談します。 ・もっと児童館のアピールして！ ➡これまでも児童館の良さをたくさんPRしています。これからしていきますが皆さんも来館してよかったことをお友だちや家族に話してもらえると嬉しいです。 ・不満はありません ➡ありがとうございます。もっともっと満足してもらえるようイベントを計画します。 ・たくさんあそび道具があって楽しかった ・みんなであそんで楽しいです！ ➡たくさん遊んで友達も増やしてください。楽しんでもらえるように、先生たちはいろいろな遊び計画を考えていきます。 ・わくわくサイエンスのインクのクロマトグラフィーがとてものしかった ➡科学あそびを楽しんでもらえて嬉しいです。もっともっと不思議な科学あそびしましょう。 ・おもちゃ以外にも本がたくさんあって嬉しいです ➡読んでいただけて嬉しいです。いろいろなことに興味もってほしいです。読みたい本があれば教えてください。 ・また来たい。毎日来たい。 ➡とても嬉しい言葉です。ありがとうございます。いつでも遊びに来てください。待っています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	S	S	S
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○今期は新型コロナウイルスが5類へとなったため、変更の5月13日以後は岐阜市子ども支援課や法人本部の指導を受け、職員間での話し合いも設け感染防止対策を緩和し運営を進めることができた。利用者からのクレームもなかった。 今期の開館日数・・・開館日数 155 日間 利用者数 6,520 人 8月15・17日 2日間 台風接近による強風注意報、大雨警報のため終日休館あり 8月16日 日中に大雨警報が発令され、途中休館した。来館者は無事に帰宅。 ・新型コロナウイルス感染防止対策としては方針の変化に合わせて、岐阜市子ども支援課と法人の指示や指導を受け実施した。 ・5月中旬より、感染対策を緩和した。利用者への滞在時間や入館制限を無くし、遊具使用を貸出し制からコロナ禍以前のように室内に配置し自由に遊べるようにした。児童館で過ごす時間は変化が見られた。遊具、玩具の数も増やした。「時間制限がなく自由に遊具・玩具使用ができることが嬉しい」との声を多くいただいた。職員も毎回の貸出し作業の負担が減った。イベント等も参加人数を増やし日程や回数も増やしたものにした。これまで同様に日程選びや時間選びができる選択肢があることの便利さを評価していただいた。その他、利用者ニーズに応えられるよう活動準備や館内外の環境の整備・保全などを職員全員で進めた。 ・室内環境は、乳幼児親子・児童が居心地よく過ごせるように清潔保持の他、壁面飾りや遊具の配置、玩具・遊具の修理や新規の購入を定期的に見直すことを継続して行った。 ・館外は法人和光会の危機管理室職員の巡回が毎週2回程度の実施があり、利用者の安心安全だけでなく、職員も安心した運営となった。継続して草取り・植木の剪定・入口花壇の手入れを利用時間外に行った。花壇には季節の花を意識して植えている。地域の方が「楽しみにしています。」と声をかけて下さることもある。たくさん取れた花の種は地域の方や利用者へ「御自由に。」と玄関入り口で配布もした。 ・今夏も毎時00分と30分に水分補給を呼びかけ、ポスター掲示も行い体調管理した。 ・来館カード継続・・・乳幼児・児童とともに来館の都度にスタンプを押し、10回の来館でプレゼントを継続中。これまでの缶バッチ、プラ板を使っているキーホルダー等にシール台紙や布ボタンなど職員手作りのものを増やした。市販品のしゃぼん玉、シール等も加え、くじ引きで品物を渡し、喜んでいただいている。今後も継続していく。 ○子育て支援事業 ・幼児クラブは、年齢や発達に応じた計画をたて、実践できた。口頭やアンケートでのご意見に「季節感がある工夫された製作が楽しいです。」「体を動かす遊びに子どもの成長を知ることができて嬉しいです。」などの感想をいただき、職員もお子さんの成長と一緒に見守ることができ、子育て支援の場であることを意識付けできた。 ・大きなイベントとして夏まつりの参加人数を増やし実施した。浴衣や基平姿の子供たちも多くみられ、保護者の想いを感じた。今年もお手伝いに梅林地区民生委員・主任児童委員の協力があり、昨年より多い5名の方が来ていただき感謝だった。遊びのコーナーを担当していただき「小さい子どもたちにも癒され楽しい時間だった」と感想をいただいた。保護者にも地域の見守りがあることを知っていただく機会となった。 岐阜中消防署に依頼して、消防車見学と幼児用防火服を貸し出ししていただき、参加の親子が写真を撮ったり、署員と話したり喜んでいただけた。 ・水遊びを再開した。夏休みは園児も参加できるようにした。猛暑が予想されたため熱中症予防対策として、簡易テントを購入し増やし、設置した。また水分補給をまめに呼びかけた ・新規事業として母親たちの「手作りのおもちゃや小物を作りたい！」の要望から「ママハンドクラブ」と「ハンドベルを職員と一緒に楽しみましょう！」と呼びかけ「りんりんクラブ」を開始した。 お子さんと同室で無理のないように進めている。ママハンドクラブは地域の方がボランティアで講師を引き受けてくださり、参加者と和気あいあいと進められた。 ○児童の健全育成事業 ・児童の活動はコロナ禍に中止していた運動系の遊びを開始した。大縄跳びでは大人数で楽しめることを児童が喜んだ。季節に合わせた『春まつりウィーク』『夏まつり』『サーキット』などを取り入れ実施した。 ・新しいイベントに毎月、挑戦できる遊びの設定をした。普段から親しんでいる遊びをお友達と競うあう日を設け楽しんでもらった。名称を「月間グランプリ」として5月はマンカラ・ミニミニカーリングを競い合った。毎月変わることで学年に関係なく、個々の得意なこと活躍する姿も見られた。互いに教えあう姿や下級生に遊び指導する姿もあり職員は見守りができた。 ・夏まつりは中学生のボランティアを募集したが今回は学校との予定が合わず応募がなく残念だった。近隣の梅林中学校校長より、何かあれば協力するとの声をいただいているので来期の児童館イベントではボランティア参加を積極的に促した。 ○地域支援活動事業 ・移動児童館は上半期に依頼が9件あり、集団あそびを実施した。 ○民間児童館活動事業 育児相談は母親からの相談が多い。コロナ禍で交流をできずにいた方たちが来館して「ママ友が欲しい」と話されたり、ワンオペ育児の孤立した母親が、外出するタイミングやお子さんの心身の成長の不安を話されたり、第一に気持ちの受け止めをした。相談以後の来館時に声をかけて様子を聞くようにも努めた。些細なことでも話すことができるように信頼関係作りを意識した気配りに努めた。治療が必要と思われることなどの専門外の相談については関係機関への受診や相談を勧めた。 ○地域との連携 利用している児童・生徒たちの遊びや活動の様子を運営委員会等で伝え連携をとれる体制を継続している。また、例年通りに近隣の公民館運営協議会や各種団体長会議へ出席して、地域の方々と情報共有でき、児童館への協力を頂いている。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○乳幼児時期の用品リサイクル会を「ハッピーリサイクル会」として再開をした。コロナ禍で中止していたため要望が続いていた。短期間の使用である乳児用品が多く提供された。実施日は今期、幼児クラブ開催に合わせた日程を計画したことで混雑せず、スムーズに実施できた。次回は衣替え後に予定している。 また、日頃から欲しい用品を聞くことがあったため、リユース掲示板を乳幼児室に設置した。「ゆずってください」と「ゆずりませう」を自由に書き込んでもらえるようにした。品物だけを記入していただき、職員が仲介している。今後も継続する。 ○今期は地域の公民館で開催される講師を招いての子育て講座を梅林児童館で開催した。コラボ協力体制を取り、申し込み受付や会場内の準備、講座前のアイスブレイクを担当した。乳幼児が集まりやすいとのことで公民館より依頼があり実施となった。児童館利用の地域の乳幼児親子が参加し場所見知りなどがなく、落ち着いてきたと公民館館長より感謝の言葉をいただいた。互いに協力ができた。 ○前期の要望に本を増やしてほしい・貸し出しを再開してほしいとあったことに対して、本の貸し出しを再開した。貸し出しの記録をもらい1回4冊まで2週間の貸し出しとした。 絵本や児童書も購入した。今後も希望を聞き取りして購入予定。</p>

<p>今後の取組み</p>	<p>○子育て支援事業 ・乳幼児は1階をあそびの部屋とし、2階は主に児童・生徒の利用と幼児クラブでの利用としていたが幼児クラブの無い平日の午前中に2階遊戯室を乳幼児親子に開放していく。また毎月第2・4日曜日午前中に2階遊戯室で乳児、幼児(年長児)と児童のふれあいタイムとし遊びの時間を設ける。多世代交流の時間としてもイベント計画もしていく。 これまで狭い共同スペースのみで小学生と乳幼児の兄弟が一緒に遊んでいたことへも配慮した取り組みとしている。</p> <p>○地域組織活動支援事業 地域(公民館・小学校等)で開催される事業へ児童館としてこれまで同様、協力体制を取っていく。移動児童館の依頼があれば、地域の子育て支援の拠点としての活動を行っていく。</p> <p>○児童健全育成事業 ・下半期は日暮れも早く閉館も早まるため、短時間でも遊びを満足してもらえるように、いつでもできる遊びの用意や設定をしていく。またハロウィンやクリスマス会、お正月あそびなど季節感を味わうことが多くなるため、一緒に楽しめる参加しやすいものにしていく。</p> <p>○民間児童館活動事業 ・イベントに興味を持ってもらえるように中学生を中心にボランティア育成活動をしていく。 ・地域の方に特技や技術を教えていただく講座を設けていく。</p>
---------------	---

●所管課の意見

<p>○新規事業として毎月挑戦できる遊びを実施したり、母親のリフレッシュになるように新たにクラブを実施するなど、積極的に新規事業を実施している。</p> <p>○移動児童館を多く実施し、児童館未設置地区での児童館の活動普及に努めている。</p> <p>○法人本部と密に連絡を取っており、法人との連携や連絡体制が整っていたり、法人内研修も多数参加したりするなど、職場環境が整っている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。</p>